

石油連盟シンポジウム

「大規模油流出への準備体制の整備・充実」

オーストラリア油濁対応組織の視点



内容

- オーストラリアの状況
- オーストラリアにおける油流出への準備と対応をめぐる要素



関連組織

業界団体



規制当局



対応組織



業界；
石油、ガス、
海運

州政府



操業環境

• 石油探査・生産

- 2016年、西オーストラリア州の掘削活動は停滞
- 2017年以降、探査活動は増加（バーレル当たりの原油価格による）
- 2016年、グレートオーストラリア湾で掘削活動を開始
- 2017年から、西オーストラリア州でLNG開発の増加（洋上LNG生産を含む）
- 探査・生産規制要件強化（NOPSEMA：国家海洋石油安全環境管理庁）
- リスクは原油生産からガス／コンデンセートにシフト
- 連邦政府による環境認可の規制プロセスの合理化は継続
- 小規模な操業者とAMOSC（オーストラリア海洋油流出センター）の潜在会員の増加（リスク？）

• 精製

- 2019年までにオーストラリアには4製油所 [ジーロング、アルトナ、リットン、クイナナ]

操業環境（続き）

海運

- ◻ シャトル・タンカー活動の増加
- ◻ オーストラリア北部各港への海上製品輸送の増加
- ◻ ターミナル活動の活発化と海上製品輸送の増加
- ◻ 2016年以降、船用燃料はC重油からB重油（IFO 180 CSt）及び留出燃料油に移行
- ◻ 民間の油流出対応ネットワークに対する海運業界の「ただ乗り」
- ◻ 油流出への準備及び対応活動に対する州の援助・モチベーションの減少
- ◻ 海上輸送による事故のリスク増大で求められる業界の支援
- ◻ オーストラリア沿岸にも、排出規制海域（ECA）またはこれに準じる海域を指定



今後について

- 2016年の AMOSC のサポートに関して、「現状維持」の要求
- 会員企業での人員削減を受け、油流出対応に関する助言について、下流部門に対する支援を強化
- 相互援助へのサポート、会員の資機材メンテナンス／保管サポートを強化（資機材／資源の試験計画に対する新たな規制圧力）
- 新たな開発分野（下記を含む）
 - 新しいコスト分担イニシアチブの可能性
 - 漂流予測モデル作成・油処理剤の空中散布などの対応請負の増加
- 原油価格が上昇すれば、探査・生産各社からの訓練、助言、計画立案の依頼が増加すると AMOSC は予想

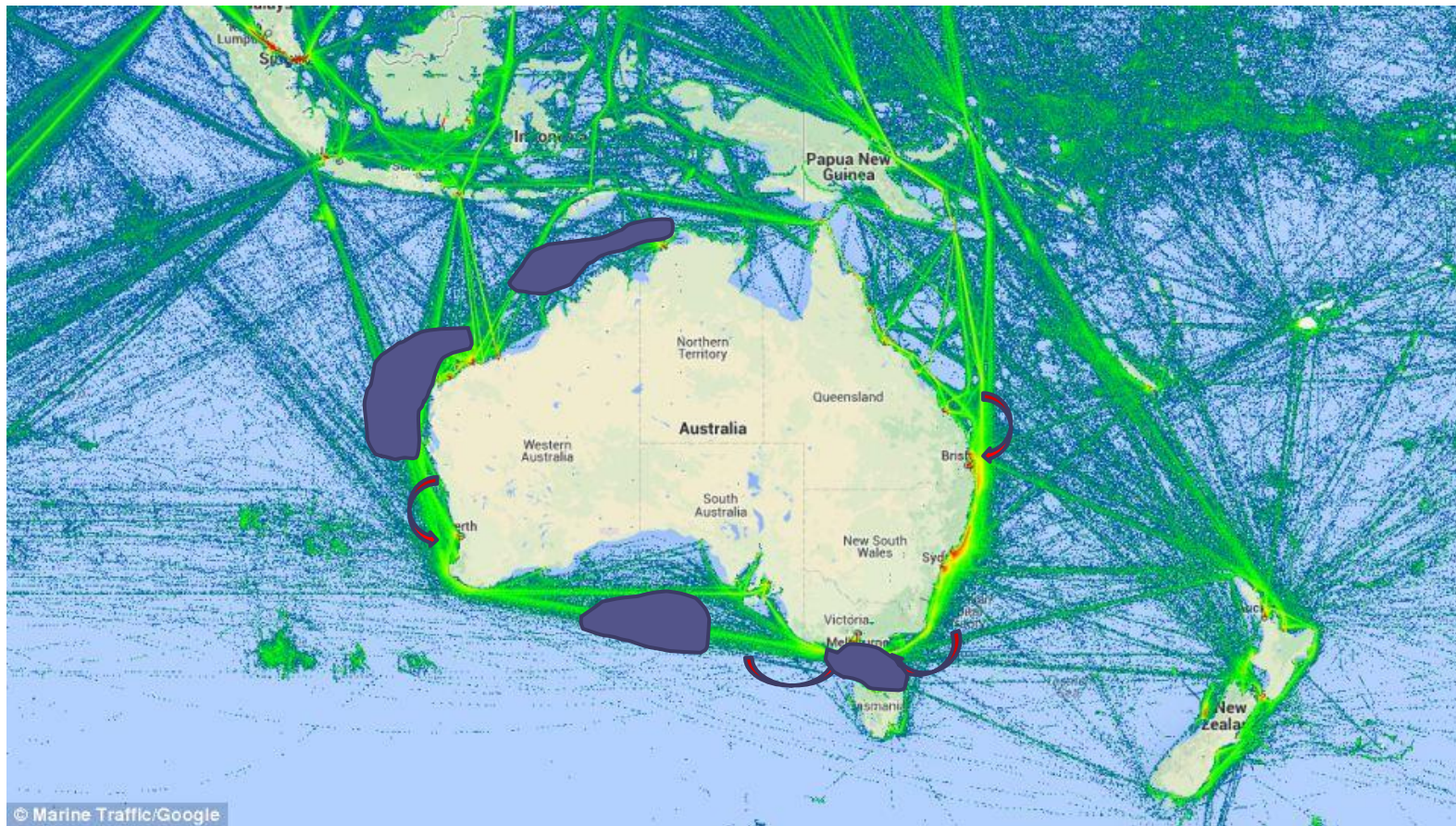


準備に対する最終的な影響

- 相互援助が非常に重要になっている
 - AMOSCが120社の人員からなるコアグループを調整
- 合同演習により、重複と個別演習を削減
- 探査活動がほとんどないことから、上流部門による準備に対する投資が止まる可能性
 - 海中の問題は重要視されなくなっている？
- 下流部門による投資の継続（増加はしていない）



しかし、リスク要因はまだ残る . . .



準備を維持するための3本柱の戦略

- 相互援助
- 規制の変更の継続注視
- 上流・下流部門のニーズの継続注視



相互援助／共同出資

- 合同演習 [*Ex Westwind*のビデオ]
- 共同出資モデル：油処理剤の空中散布契約、漂流予測モデル作成、科学的監視活動、油流出事故対応包括契約（油濁対応組織による）
- データの共有



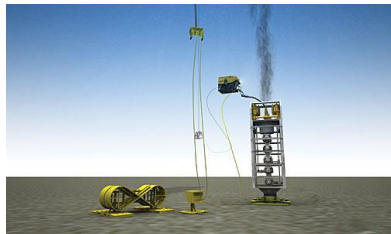
継続注視

- 油流出への準備と対応の教育面の強化（業界合同プロジェクトの情報発信）
- 流出対応のあらゆる側面について、石油業界の「目、耳、アドバイザー」として活動
- 統合した対応の継続注視
- 対応時の作業規律の厳守



対応方法のツールボックス

油処理剤の海中散布



油処理剤の空中・海面散布



機械的回収



現場燃焼

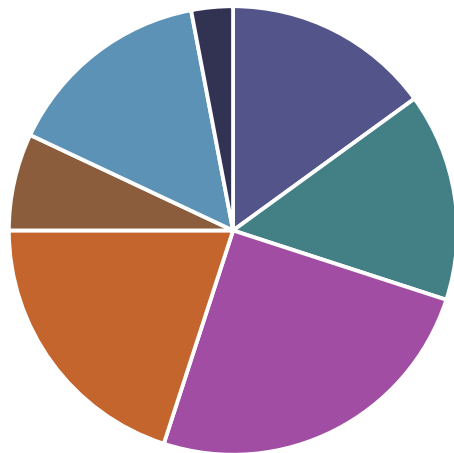


監視・評価



ツールボックス別アプローチ

2010年8月 マコンド油井の1日当たりの油流出事故対応予算



■ 直接回収

■ 蒸発/溶解

■ スキミング (すくい取り)

■ 自然分散

■ 現場燃焼

■ 化学的分散

■ その他